

toVO トウゴ
PLUS

www.tovo2011.com

SEASON 3



NO. 031

20141011

あおもりの100家族、わたしたちのこれから。





www.tovo2011.com



インタビュー

今号のご家族 ▶ 齊藤 仁宏さん・智美さん・栢佳くん・蓮ちゃん・泉甫くん
せいか れん みずほ

撮影場所 ▶ 鬼神社 (弘前市鬼沢)

●2011年3月11日のこと、憶えていますか？

▶智美さん「泉甫と一緒にぼーっとTV観てましたね(笑)揺れると思ったらすぐTVが消えて、あら！って。停電してから近所のおばあちゃんが、ウチだけじゃないよね～って、確認に来ました(笑)泉甫が生まれたのが3月1日で、病院から帰ってきたのが8日だったんですよ。病院で地震にあつたら大変だったな～と思いましたね。栢佳と蓮は保育園からバスで送られてきて、次の日からは暖房の関係で、お休みできたら休んでくださいって。」

▶仁宏さん「仕事場で、もう一瞬で電気消えましたね。帰れ帰れって社長が騒いでました(笑)コンビニで水買って帰れって。電話がやっつと繋がって、何か食料とか買って帰ってきってって言われて店に寄ったものの、地震あつてからまだ1時間半とか、そのくらいしか経ってなかったのに既に何もなかったのをすごく覚えてます。実は前日まで出張で仙台にいたんですが、仕事してた所が壊滅的な被害にあつたそうで、そういえば余震みたいなのもあつたし、うわ～危なかったな～と。」

▶蓮ちゃん「保育園で、帽子かぶって本みてた。帽子ない人はお昼寝のふとんかぶってた。揺れすごくて先生がさわいでてめっちゃうるさかった！みんなは静かだった(笑)」

●その日の夜はどう過ごしましたか？

▶智美さん「この辺は井戸あるところが多いんですが、停電で村の簡易水道が止まっちゃったんですよ。ウチは簡易と浄水どっちも引いてたので水は大丈夫で、お水ちょうだいって近所の人が家に来たりしましたね。トイレはお風呂にためてあつた水で流せました。暖房は薪ストーブだったから問題なかったし、ガス釜だからご飯もふつうにできました。ストーブの上に鉄瓶いっぱい置いてお湯沸かしたり。その年の夏に父が亡くなって、太いローソクとか結構

あつたので灯りはそれを使って。夜、電気以外はわりと不自由なかつた！(笑)農家ばかりだから野菜はあるし、食べ物にも困らなかつたですね。イモがあればなんとかなるだろうって(笑)あ、でも、泉甫のおしりふきとかおむつを買いだめしてなかつたので、それは2～3日ちょっと困りました～。」

●震災後、何か変わりましたか？▶智美さん「特別なことはしてない…ですね～。車のガソリンこまめに入れとくくらい。」

▶仁宏さん「今単身赴任で三沢にいて地震よくあるけど、特に何もできてないな～。」 ▶智美さん「ロウソクくらい持つとけて言ってるんですけどね(笑)子どもたちも特に何ってこともないんですが、携帯電話の地震速報のメール？あのもの凄いの音鳴るやつには流石に『これ地震の音でしょ』ってちょっと不安そうにしますね。そういえば、地震が起きる前に、イタコさんとか神様降ろす系の人たちが、あつちで何かおつきいことあるから、向こうに行つて人早く帰つた方がいいよって騒いでるらしいって、この辺で話してたんですよ。それで地震起きて、うちの人は無事に前日に帰つてきて、は～やつぱり神様だもんな～わかるんだ～ほんとなんだ～って改めて神様すごいで感動しました(笑)」

●10年後は？▶智美さん「子どもたち高校生…になつても、今みたいに親と遊んでくれるかな(笑)好きなこと見つけて、やりたいこと自由にやってくれれば！」 ▶仁宏さん「孫できれば面白いな～(笑)」 ▶智美さん「いやあんまり早いべ！まだ高校生だよ(笑)栢佳はトミカのDVDの影響で3歳くらいのときからずっと消防士になりたいって言つて、蓮は昔から警察官になりたいって言うんですよ。蓮なんぞ？」

▶蓮ちゃん「あのね～なんかね、地球の平和をね…」 ▶智美さん「守るのか！壮大な(笑)泉甫はアンパンマンになりたいらしく一番ふつう(笑)」

終

定期購読のご協力をお願い致します

1年間の定期購読を承ります。1,500円(送料・寄付含)/1年間(12号)です。ご希望の方は、「郵便番号・ご住所・お名前」を明記の上、メール(info@tovo2011.com)にてお申し込みください。

編集後記

鬼沢の伝統、獅子踊りのお囃子を担当している智美さん。撮影にあたりお囃子の衣装と獅子の頭も用意してくださいました。やんちゃな子どもたちを時に厳しく、笑顔いっぱいできっかり受け止めるお父さんお母さん。鬼神社が祀る「ツノ」のない心優しい鬼神様が、齊藤さん一家の後ろに見えたような気がしました。【坂本小雪】

東日本大地震・津波被災者チャリティー

tovo トヴォ

2011年6月～2014年8月30日まで

¥2,579,505

を寄付することができました。ご協力に感謝いたします。

【tovo/トヴォ】は、2011年3月11日の東日本大震災によって、親を失った子どもたちを、青森から支援するプロジェクトです。チャリティーグッズを制作・販売し、その経費を除いた全ての収益を、長期的な子どもたちの心のケアの為、あしなが育英会へ継続的に寄付し、青森から「あなたがたのそばにいつもいますよ」と伝え続けます。ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。



今号のご家族▶齊藤 仁宏さん・智美さん・栖佳くん・蓮ちゃん・泉甫くん

撮影場所▶鬼神社 (弘前市鬼沢)

【インタビュー】

●2011年3月11日のこと、憶えていますか？

▶智美さん「泉甫と一緒にぼーっとTV観てましたね(笑)揺れてると思ったらずぐTVが消えて、あら！って。停電してから近所のおばあちゃんが、うちだけじゃないよね～って、確認しに来ました(笑)泉甫が生まれたの

が3月1日で、病院から帰ってきたのが8日だったんですよ。病院で地震にあったら大変だったなーと思いましたね。栖佳と蓮は保育園からバスで送られてきて、次の日からは暖房の関係で、お休みできたら休んでくださいって。」

▶仁宏さん「仕事場で、もう一瞬で電気消えましたね。帰れ帰れーって社長が騒いでました(笑)コンビニで水買って帰れーって。電話がやっとならなくて、何か食料とか買って帰ってきてーって言われて店に寄ったものの、地震あってからまだ1時間半とか、そのくらいしか経ってなかったのに既に何もなかったのをすごく覚えてます。実は前日まで出張で仙台にいたんですが、仕事してた所が壊滅的な被害にあったそうで、そういえば余震みたいなのもあったし、うわ～危なかったな～と。」

▶蓮ちゃん「保育園で、帽子かぶって本みてた。帽子ない人はお昼寝のふとんかぶってた。揺れすぎて先生がさわいでてめっちゃうるさかった！みんなは静かだった(笑)」

●その日の夜はどう過ごしましたか？

▶智美さん「この辺は井戸あるところが多いんですが、停電で村の簡易水道が止まっちゃったんですよ。ウチは簡易と浄水どっちも引いてたので水は大丈夫で、お水ちょうだいって近所の人が家に来たりしましたね。トイレはお風呂にためてあった水で流せました。暖房は薪ストーブだったから問題なかったし、ガス釜だからご飯もふつうにできました。ストーブの上に鉄瓶いっぱい置いてお湯沸かしたり。その年の夏に父が亡くなって、太いローソクとか結構あったので灯りはそれを使って。夜、電気以外はわりと不自由なかった！(笑)農家ばかりだから野菜はあるし、食べ物にも困らなかつたですね。イモがあればなんとかなるだろうって(笑)あ、でも、泉甫のおしりふきとかおむつを買いだめしてなかったの、それは2～3日ちょっと困りました～。」

●震災後、何か変わりましたか？

▶智美さん「特別なことはしてない...ですね～。車のガソリンこまめに入れとくくらい。」

▶仁宏さん「今単身赴任で三沢にいて地震よくあるけど、特に何もできてないなー。」

▶智美さん「ロウソクくらい持っとけって言うてるんですけどね(笑)子どもたちも特に何ってこと

もないんですが、携帯電話の地震速報のメール？あのもの凄い音鳴るやつには流石に『これ地震の音でしょ』ってちょっと不安そうにしますね。そういえば、地震が起きる前に、イタコさんとか神様降ろす系の人たちが、あっちで何かおっきいことあるから、向こうに行ってる人早く帰った方がいいよって騒いでるらしいって、この辺で話してたんですよ。それで地震起きて、うちの人は無事に前日に帰ってきて、は～やっぱり神様だもんな～わかるんだ～ほんとなんだ～って改めて神様すごって感動しました(笑)」

●10年後は？

▶智美さん「子どもたち高校生...になっても、今みたいに親と遊んでくれるかな(笑)好きなこと見つけて、やりたいこと自由にやってくれれば！」

▶仁宏さん「孫できれば面白いな～(笑)」

▶智美さん「いやあんまり早いべ！まだ高校生だよ(笑)栖佳はトミカのDVDの影響で3歳くらいのときからずっと消防士になりたいって言ってて、蓮は昔から警察官になりたいって言うんですよ。蓮なんで？」

▶蓮ちゃん「あのねーなんかね、地球の平和をねー...」

▶智美さん「守るのか！壮大だな(笑)泉甫はアンパンマンになりたいらしく一番ふつう(笑)」

【編集後記】

鬼沢の伝統、獅子踊りのお囃子を担当している智美さん。撮影にあたりお囃子の衣装と獅子の頭も用意していただきました。やんちゃな子どもたちを時に厳しく、笑顔いっぱいでしたっきり受け止めるお父さんお母さん。鬼神社が祀る「ツノ」のない心優しい鬼神様が、齊藤さん一家の後ろに見えたような気がしました。【坂本小雪】

【寄付総額】

2011年6月～2014年8月25日まで、「¥2,579,505」を寄付することができました。ご協力に感謝いたします。